



50th Anniversary

富士見市市制施行 50周年記念式典

令和4年4月10日(日) 午後2時
富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ



富士見市★市制施行50周年



市制施行50周年にあたって

富士見市は昭和47年4月10日、県内35番目の市として誕生し、本日、市制施行50周年という大きな節目を迎えました。

市制施行当時、人口約6万人で歩みを進め、以来、昭和から平成、そして令和へと時代が移り変わる中、都市と自然が調和した住みよいまちとして発展し、現在では、人口11万2千人を超える都市にまで成長いたしました。

これまで、本市の発展にご尽力を賜りました先人の方々をはじめ、ふるさと富士見を想い、市政運営にご支援とご協力をいただきました市民の皆様、多くの関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

今、社会を取り巻く環境は、世界的な気候変動に伴うグリーン分野への対応やポストコロナに向けたデジタル分野の加速化などにより、大きな変革の時代を迎えようとしております。

こうした中で、SDGsの理念に基づく持続可能なまちづくりを進め、本市がさらに発展していくためには、先人の方々の伝統や事業を引き継ぎ、発展させて未来を切り開いていく「けいおうかいらい継往開来」の精神が大切です。

私は、市制施行50周年を記念して行われる様々な事業を通してたくさんの笑顔の花を咲かせ、コロナ禍で失われた人と人との絆を取り戻すとともに、「けいおうかいらい継往開来」の志を市民の皆様と一緒に共有しながら変革を実現し、新たな時代を築いていくためのスタートとしたいと思っております。

「みんな笑顔☆ふじみ」を合言葉に、第6次基本構想で定めた本市の理想の未来である誰もが自分らしく「充実した日々」が送れるまちづくりを目指して、全力で市政運営に取り組んでまいりますので、今後とも皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和4年4月10日

市長 星野 光弘

50th Anniversary

式次第

- ✧ 富士見ファンファーレ
- ✧ 市制施行50周年記念映像
- ✧ 開式の辞 — 副市長 浅井 義明
- ✧ 式辞 ——— 市長 星野 光弘
- ✧ あいさつ — 市議会議長 斉藤 隆浩
- ✧ 来賓祝辞
- ✧ 来賓紹介
- ✧ 祝電披露
- ✧ 表彰状・感謝状贈呈
- ✧ 謝辞
- ✧ 市制施行50周年記念事業紹介
- ✧ 結婚50周年インタビュー
- ✧ ゼロカーボンシティ宣言
- ✧ 演奏 ——— 市立勝瀬中学校吹奏楽部
富士見市民吹奏楽団
- ✧ 閉式の辞 — 教育長 山口 武士



みんなが笑顔の富士見市を目指します



1964

富士見町発足
(人口1万9,019人)

1972

富士見市発足
(人口5万9,265人)



1999

人口10万人突破

2022

市制施行50周年
(人口11万2,456人)
令和4年3月現在



2040



- 実りある暮らし
- 充たされたつながり
- 恵まれた生活環境

“まち”を形づくる「暮らし・つながり・生活環境」を3つの円で表現し、富士山に見立てた「成長の継続」がその“まち”をさらなる高みへ押し上げ、晴れ晴れとした明るい“充実した日々”へ向かっている様子を、市章をモチーフに表しました。

※富士見市第6次基本構想より

2041~

さらに未来へ……
to be continued



市制施行50周年記念事業 Anniversary project

令和4年

- 4月 市制施行50周年記念映像及びPR映像公開
- 4月 新聞特集記事掲載
- 4月 市内3駅発車メロデー放送開始
- 5月 富士見ファンファーレ発表
- 5月 ふじみヘルシーウォーク大会
- 6月 武者行列
- 6月 難波田城公園まつり
- 7月 子どもフェスティバル
- 7月 富士見のあゆみ発行
- 7月 ラケットテニス大会
- 8月 第30回やなせ川いかだラリー
- 8月 舞台芸術鑑賞会「松竹歌舞伎舞踊公演」
- 9月 子ども大学☆ふじみ第10期特別記念講演
- 9月 勝瀬de縁日
- 9月 水子貝塚星空シアター
- 10月 日登美杯レスリング大会
- 10月 心から楽しむ、笑う吉本新喜劇公演
- 10月 謎解きデジタルスタンプラリー
- 10月 富士見ふるさと祭り
- 10月 健康歯っぴりライフ☆シンポジウム
- 10月 富士見市で結婚50年を迎えた金婚ご夫婦お祝い式
- 11月 鶴瀬西配水場見学
- 11月 私たちの未来、50年後の富士見市作品展
- 11月 富士見市の美しい自然環境写真コンテスト
- 11月 第20回なんばた青空市場
- 11月 富士見市PR冊子完成
- 11月 バトテニス大会
- 11月 図書館まつり
- 11月 FUJIMI☆音楽祭
- 11月 花火大会
- 11月 青少年の主張大会 50年後の未来を語ろう!!
- 12月 スポーツチャレンジ2022
- 12月 あいサポートフェスティバル
- 12月 ふわっぴー10周年記念郵便ポスト設置
- 12月 うたごえフェスタ
- 12月 ふうたごえフェスタ
- 12月 あいサポートフェスティバル
- 令和5年
- 2月 NHK全国放送公開番組収録
- 2月 ふわっぴー10周年記念お誕生日会イベント
- 3月 学校吹奏楽祭
- 3月 FUJIMI☆クラフトピアフェスタ
- 3月 ふじみ☆ふわっぴー絵本お披露目

記念事業については
こちらから

市のあゆみ

History of Fujimi City

昭和30年代 [1956~1964]

- 昭和31年 9月 鶴瀬村、南畑村、水谷村が合併し、富士見町発足
- 11月 水谷公民館、南畑公民館開館
- 昭和32年 4月 鶴瀬公民館開館
- 昭和35年 4月 富士見台中学校開校
- 昭和38年 4月 鶴瀬西小学校開校
- 昭和39年 4月 町制施行、富士見町発足

昭和40年代 [1965~1974]

- 昭和41年 9月 「人間尊重宣言都市」を宣言
- 昭和43年 4月 鶴瀬西公民館開館
- 昭和44年 4月 関沢小学校開校
- 昭和46年 4月 勝瀬小学校、上沢小学校、本郷中学校開校
- 昭和47年 4月 市制施行、富士見市発足
- 6月 みずほ学園開園
- 11月 勝瀬公民館開館
- 昭和48年 4月 水谷東小学校開校
- 8月 庁舎完成



昭和50年代 [1975~1984]

- 昭和50年 4月 諏訪小学校、富士見養護学校開校（県内3番目）
- 昭和51年 4月 健康増進センター開所 東中学校開校
- 6月 水谷東公民館開館
- 10月 運動公園開園
- 昭和52年 4月 みずほ台小学校開校
- 9月 「スポーツ振興健康増進都市」を宣言
- 10月 みずほ台駅開設
- 昭和54年 4月 西中学校開校
- 6月 みずほ台中央公園開園
- 昭和55年 2月 むさしの緑地公園（ミニ鉄道公園）開園
- 4月 サンライトホール開館 勝瀬中学校開校
- 12月 鶴瀬コミュニティセンター開館（鶴瀬公民館併設）
- 昭和56年 2月 商工会館完成
- 4月 勤労文化会館開館（南畑公民館併設）
- 昭和57年 4月 市制施行10周年記念式典
市民憲章および市の木「けやき」、市の花「ふじ」を制定
- 7月 第1回ふじみ市民まつり開催
- 10月 ユーゴスラビア・シャバツ市と姉妹都市提携
- 昭和58年 3月 みずほ台コミュニティセンター開館
- 4月 水谷中学校開校
- 昭和59年 4月 針ヶ谷小学校開校
- 6月 富士見ガーデンビーチ開園



昭和60年代 [1985~1988]

- 昭和61年 4月 富士見環境センター完成
- 5月 針ヶ谷コミュニティセンター開館
- 昭和62年 7月 「富士見市非核平和都市」を宣言

平成元年~9年代 [1989~1997]

- 平成2年 10月 市民総合体育館開館
- 平成4年 4月 市制施行20周年記念式典 純米吟醸酒「縄文海進」販売開始
- 平成5年 11月 ふじみ野駅開設
- 平成6年 4月 山崎公園（せせらぎ菖蒲園）開園
- 6月 水子貝塚公園（縄文ふれあい広場）開園
- 10月 中央図書館開館（移転新築）
- 平成9年 1月 市内循環バス運行開始

平成10年代 [1998~2007]

- 平成11年 1月 人口が10万人を超える
- 4月 ふじみ野小学校開校
- 平成12年 4月 「環境にやさしい都市」を宣言
- 6月 難波田城公園・資料館開園
- 平成14年 4月 びん沼自然公園開園 みずほ学園移転新築
- 6月 ふじみ野交流センター開館
- 7月 ファミリー・サポート・センター開設
- 10月 市制施行30周年記念式典
- 11月 市民文化会館キラリ☆ふじみ開館
- 平成15年 4月 文化の杜公園開園
- 10月 子育て支援センター開設 合併の賛否を問う市民投票実施
- 平成16年 4月 富士見市自治基本条例制定
- 7月 市民福祉活動センターぱれっと開館
- 平成17年 10月 第1回富士見ふるさと祭り開催
- 11月 鶴瀬西交流センター開館
- 平成18年 1月 鶴瀬西小学校閉校記念式典
- 2月 上沢小学校閉校記念式典
- 4月 つるせ台小学校開校
- 平成19年 3月 地域包括支援センター設置 鶴瀬駅東通線が市役所まで開通
- 7月 勝瀬原記念公園開園



平成20年代 [2008~2017]

- 平成20年 6月 入間東部広域斎場しののめの里供用開始
- 平成22年 4月 鶴瀬駅西通り線開通
- 10月 シャバツ市の市民訪問団来日
- 平成23年 3月 東日本大震災
- 4月 つるせ台公園開園 勝瀬原特定土地区画整理事業竣工
- 平成24年 4月 市制施行40周年記念式典
富士見市マスコットキャラクター「ふわっぴー」を決定 市の鳥「かわせみ」を制定
- 平成27年 5月 ピアザ☆ふじみ開館
- 12月 人口が11万人を超える
- 平成28年 5月 富士見市PR大使委嘱式開催
- 平成29年 4月 市制施行45周年記念事業 ももいろクローバーZコンサート
『ももクロ春の一大事2017 in 富士見市』開催
- 10月 子ども未来応援センター開所 富士見市障がい者相談支援センター開所
- 11月 富士見市の新しいお酒「梅恋花」販売開始



平成30年代 [2018]

- 平成30年 10月 子どもの夢つなぐ市民運動☆ふじみ始動
- 12月 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウン登録

令和元年以降 [2019~]

- 令和元年 5月 STEM（ステム）教育実践 ロボットと未来研究会 富士見☆研究室開校
- 6月 特色のある幼児教育推進事業の開始
- 7月 セルビア共和国シャバツ市と姉妹都市記念日（10月23日）を制定
- 12月 共生社会ホストタウン登録（セルビア共和国）
- 令和2年 2月 新型コロナウイルス感染症対策本部設置
- 令和3年 7月 東京2020オリンピック競技大会セルビア共和国レスリング選手団事前キャンプ
- 9月 市制施行50周年記念ロゴマーク決定
- 令和4年 4月 市制施行50周年記念式典 富士見ファンファーレ発表 「ゼロカーボンシティ」を宣言



富士見ファンファーレ 曲名「富士見市市制施行50周年への祝典序曲」 作曲者 國分 大悟

概要

市制施行50周年を記念し公募した富士見ファンファーレに応募された全36作品の中から選ばれた曲。審査の評価では、「華やか」「とてもファンファーレらしい曲で、最適」「中学生が演奏可能という視点で見ても挑戦しがいがあり、金管・木管・打楽器パートすべてに演奏機会があることも生徒のモチベーションにつながる楽曲」等の評価を受けた。

作曲者コメント

これからの富士見市へ祝福の気持ちを込めて、輝いて聞こえる音色を使い作曲しました。聴いた方に新たな道を歩む勇気を持ってもらえるよう、世の中に対する不安やかげりを打破するイメージを曲調の変化や打楽器で表現しています。



作曲者プロフィール

國分 大悟(こくぶ だいご)

県内在住の大学生(受賞時は高校生)。日本少年少女オーケストラ団員(ヴァイオリン・打楽器)、神奈川フィル・ジュニア弦楽オーケストラ第四期生として活動した。

富士見ファンファーレ
についてはこちらから



出演者 紹介

曲名「ジェネシス」(2022年度全日本吹奏楽連盟委嘱作品) 作曲者 鈴木 英史

曲名「《コンサートの幕開けを飾る》プロローグ・ワン」 作曲者 田村 修平



北原 幸男(指揮者)

桐朋学園大学卒業。インスブルック歌劇場専任指揮者、ドイツ・アーヘン市立歌劇場音楽総監督などを歴任し、世界各地のオペラハウス、オーケストラに客演。国内でも多くのオーケストラに招かれるとともに、オペラ公演でも高い評価を得ている。プラハの春国際コンクール第3位入賞。グローバル音楽奨励賞、下総皖一音楽賞受賞。現在、宮内庁楽部洋楽指揮者、武蔵野音楽大学教授、新潟県音楽コンクール審査委員長、埼玉県富士見市文化芸術アドバイザー。先の天皇皇后両陛下御即位における祝賀御列の儀パレードでは、自身が作曲した行進曲「令和」を指揮した。



富士見市民吹奏楽団

鶴瀬公民館の呼びかけにより、昭和56年7月から青少年の健全育成を目的に活動をスタート。『市吹』と親しまれ、今年で41周年を迎える。キッズコンサート(3月)、定期演奏会(9月)などの自主コンサートの開催や、音楽連盟によるサマーコンサート(7月)、市民音楽祭(11月)への参加など、毎週水曜日の夜間を中心に定期的な活動を続けている。



市立勝瀬中学校 吹奏楽部

昭和55年開校と同時に創部。「We enjoy 吹奏楽～心を動かす音楽を～」をスローガンとして掲げ、令和3年度は埼玉県吹奏楽コンクールAの部地区大会で金賞、県大会では銅賞を受賞、埼玉県アンサンブルコンテスト地区大会においては銀賞、銅賞を受賞するなど、精力的に活動を行っている。



富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。